

経営理念

より安全で快適な社会作りに全力で貢献する
技術を磨き、誠実にものづくりを行う
全社員が相互に物心両面での幸せを追求する



To Our Shareholders 株主の皆さまへ



株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の属する建設業界におきましては、公共建設投資は国土強靱化計画のインフラ対策等により底堅く推移し、また民間建設投資も設備投資意欲の回復等により持ち直しの動きが見られる一方、施工を行う技術者不足が解消されていないことに加え、資材価格や労務費等の建設コストの高騰が工事収益を圧迫する等、引き続き厳しい状況が続いております。

このような経営環境のなか当社は、常態化している建設現場の人手不足の解消に寄与する施工性の高い新製品の開発や既存製品の改良を進めるとともに、適正な利益水準を確保するため製造工程の効率化や販売価格の適正化に向けた取り組みを継続してまいりました。

また、インフラ点検分野では、従前の構造物点検業務に加え、コンクリートに対する知見を活かした構造物補修の提案など、新しい試みを通じて将来収益の柱となるよう事業基盤拡充に努めてまいりました。

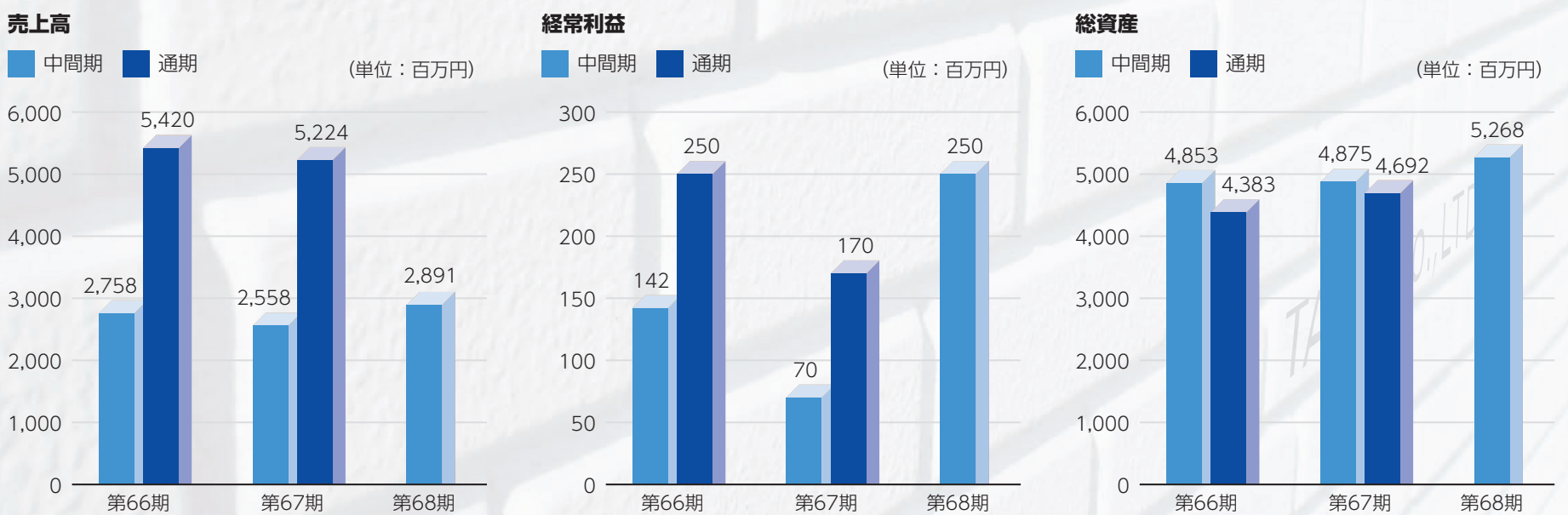
この結果、当中間期の業績は、売上高28億9千1百万円（前年同期比13.0%増）となりました。利益面では、営業利益2億4百万円（前年同期比233.0%増）、経常利益2億5千万円（前年同期比257.2%増）、中間純利益は1億4千3百万円（前年同期比196.0%増）となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年3月

株式会社武井工業所
代表取締役 武井 厚

第68期中間期財務ハイライト



貸借対照表

(単位: 千円)

科目	前期末 2022年6月30日	第68期中間期末 2022年12月31日
流動資産	2,136,587	2,711,937
固定資産	2,556,022	2,556,762
資産合計	4,692,609	5,268,699
流動負債	1,933,237	2,399,531
固定負債	731,448	706,011
負債合計	2,664,685	3,105,543
純資産合計	2,027,924	2,163,156
負債・純資産合計	4,692,609	5,268,699

Point

当中間期のポイント

当中間期は、資材価格の高止まりや建設現場の人手不足の常態化など、建設業を取り巻く状況は依然として厳しい状況で推移しましたが、政府の国土強靱化計画をはじめとした各種政策の効果もあり公共投資については、大幅に落ち込んだ前年同期の実績と比べて幾分か回復の兆しがみえました。

民間需要については、首都圏へのアクセスの利便性や、省エネ性能の高い住宅への関心の高まりを受け、つくばエクスプレス沿線の開発が継続して進められており、その宅地造成工事で使用される函渠型側溝やシキールなどの受注が好調に推移しました。

また、県内の道路ネットワーク整備に伴った事業効率の向上や、荷物の運搬時に排出される温室効果ガスの低減を目的とした、大型の工場や物流施設、流通系店舗の建設が、圏央道や東関東自動車道の沿線に進められており、工事で使用する製品の受注が増加しています。このような状況の中、高騰し続ける原材料費を製品価格に反映する取り組みについても、お客様のご理解をいただきながら進めたことにより、一定の成果を上げることが出来ました。

今後は、太陽光発電所等の大型案件の減少や、更なる原材料価格の値上げも予定されているため、製品価格の適正化に向けた取り組みを継続するとともに、自社オリジナル製品の開発などのハード面に加え、お客様のニーズに合わせた提案型の営業や、製品配送時の情報提供などソフト面の充実を図り、他社との差別化に努めてまいります。

製品

新製品が続々登場！



「人工芝サッカー場にシキールが採用されました。」

“早い・強い・キレイ”を実現した「シキール」(フェンス基礎ブロック兼用の化粧付境界ブロック)は建設外構を手掛ける施工業者様に大変ご好評をいただいています。今回の現場では、新設された人工芝サッカー場の外周を囲むフェンス基礎ブロックの用途にて採用されました。

この人工芝サッカー場は長方形の長い辺を2つ並べる形で計画されていたため、外周延長が長くなり、従来工法の空洞ブロックで外周を囲うには、大変な労力と施工時間が必要でした。

加えて、今回の施工業者様は、人工芝サッカー場の整備は得意分野でしたが、外構工事の実績は少なく、お困りの様子で当社にご相談がありました。

現場の状況から、製品を置くだけの簡単施工で少人数化や省力化、工期短縮が図れる「シキール」をご提案したところ、施工性の高さを認めていただき、ご採用となりました。

初めて使用する「シキール」でしたが、当社営業・設計担当者と施工業者様とで綿密な打ち合わせを行い、製品を納入し、無事工期内に完成することが出来ました。

武井工業所は、現場のニーズを取り込んで開発したこの「シキール」同様、現場の抱える様々な問題を解決する製品の開発や、既存製品の改良を通じてより安全で快適な社会づくりに全力で貢献してまいります。

「新規規格のセパロックBがラインナップに加わりました。」

施工が早くて簡単、しかも仕上がりがキレイな当社オリジナル製品のセパロックは一度使うとその便利さから、リピートされるお客様が増え、着実に存在感を増しております。このたび、そのセパロックに新規規格の「セパロックB (Blind・目隠しの頭文字のB)」がラインナップに加わりました。

従来工法での課題(フェンス基礎ブロックが大きく、境界に沿って並べるとフェンスが内側に入ってしまうため敷地が狭くなるなど)を解消するセパロックの有用性はそのままに、お客様からの要望が非常に多かった目隠しフェンスへの対応が可能となりました。この新規規格「セパロックB」によりセパロックと従来工法をフェンスの種類で使い分ける必要がなくなり、さらに施工性が向上しています。

今回ご紹介する現場は、大手コーヒーショップチェーン新築工事に伴う外構工事です。

ドライブスルー施設のある店舗で、車道を広く取りたいこと、道路だけでなく宅地にも接しているためプライバシーに配慮し宅地側には目隠しフェンスを設置したい、とのご要望がありました。この「セパロックB」を宅地側に、セパロックを道路側にご使用いただいたことでご要望に応えるだけでなく、統一感のある整然とした仕上がりとなりました。施工業者様からは『建築基礎と外構フェンス及び駐車場路盤工事の先行外構を同一業者が同時期に行うことで無駄な作業の削減につながり、少人数・工期短縮が図れた。工期短縮は第三者災害のリスク低減に寄与する。』と大変ご満足いただきました。

武井工業所は技術を磨き誠実にものづくりに向き合うことで、施主様・施工業者様・利用者様など関わる皆さまに喜んでいただける製品を提供してまいります。



インフラ長寿命化事業



現在、高度成長期に集中的に作られたコンクリート構造物の老朽化が社会的な問題となっており、部分的に補修が必要な構造物が数多く報告されています。

損傷した部分を悪化させることなく、健全な状態に保つための補修には様々な方法があり、損傷の状態や現場の状況に合わせ、その方法と使用する補修材料の選定を行わなければなりません。

今回、調査会社様からの要望によりインフラ長寿命化部が取り組んだ業務は、構造物の損傷箇所を疑似的に再現した試供体の作成と、それらを使用して行う補修材料の施工試験です。補修材料は素材の性質によって様々な特徴があり、粘度や硬化速度等の違いによって現場での作業性が大きく左右されるため、現場に合わせ最適な材料を選ぶことが最も難しく幅広い知識と経験が必要でした。今回の試験の目的は、調査会社様指導の下、インフラ長寿命化部で企画提案した数種類の試供体と指定された補修材料を組み合わせ、充填速度や使用量など材料選定の基準となるデータを採取することです。

当社では、様々な製品をお客様に提供するために高精度な鋼製型枠を保有しているとともに、その型枠を使いこなす熟練した社員が多数在籍しています。従来であれば木製型枠で対応しなければならない試供体の製造も鋼製型枠を使用し製造することが出来るため、お客様が求める形の製品を、高い精度で作成することが出来ます。今回インフラ長寿命化

部の提案で始まった試験は無事成功し、調査会社様からは当社製品の精度の高さと迅速な対応に高い評価をいただく事が出来ました。

武井工業所は、お客様の「困った」に耳を傾け、何が必要かを真摯に考え提案し、形にすることで、様々な問題を解決するためのお手伝いをする、新しい取り組みを始めています。今後もお客様の声に向き合いながら、より安全で快適な社会づくりに全力で貢献してまいります。

インド進出の進捗状況



武井工業所がインド事業を展開するマハーシュトラ州オーランガバードは雨季と乾季がはっきりしています。乾季に入り、早朝の気温は10℃前後ですが日中は30℃近くまで上昇し、一日のなかでも寒暖の差が激しい地域です。

工場の状況ですが、試験生産を開始してから早や1年となりました。今では社員・ワーカー合わせて約100名程で生産・管理を行い、毎日100トン程度の出荷を行っています。主な取扱製品はU型側溝と蓋がメインですが、大型ボックスカルバートやL型擁壁の製造も予定しており、生産量の増加を見込んでいます。

今後も日本のプレキャストコンクリート製造技術を活かし、成長著しいインドのインフラ整備に貢献していきます。

当社のSDGsへの取り組み



SDGsへの取り組みは当社にとって必須であると考えています。

プレキャスト製品の製造販売やインフラ構造物の調査・点検を通じてより安全で快適、そして持続可能な社会づくりに向けた取り組みの実現を図っていきます。

特にネットゼロに向けてCO₂の削減に取組むことで環境に配慮した製品やサービスの提供を進めていきます。

SNSにて情報を発信しています。

当社ではSNSを使った情報発信を行っています。

各部署から選ばれた若手社員が、様々な目線から当社の活動について発信をしています。

武井工業所の“今”がわかる内容となっていますので、この機会にぜひご確認・フォローをお願いします。

ホームページ



Facebook



Twitter



インスタグラム



会社概要

[2022年12月31日現在]

商号	株式会社武井工業所
創業	1939年7月
設立	1956年4月
資本金	100,000,000円
発行可能株式総数	12,000,000株
発行済株式の総数	3,542,000株
事業所等	
本社	茨城県石岡市若松一丁目3番26号
工場	明野工場（茨城県筑西市） 小川工場（茨城県小美玉市） 岩瀬工場（茨城県桜川市） 栃木工場（栃木県下野市）
営業所	東関東営業部水戸営業課（本社内） 東関東営業部つくば営業課（本社内） 東関東営業部鹿行営業課（茨城県鹿嶋市） 西関東営業部広域営業課（栃木県下野市） 西関東営業部栃木営業課（栃木県下野市）
従業員数	193名（男 176名、女 17名）

株価の推移

単位株：1,000株

約定日	約定価格（円）	約定数量（株）	約定金額（円）
2022年7月8日	110	10,000	1,100,000
2022年7月8日	116	10,000	1,160,000
2022年7月8日	110	2,000	220,000
2022年7月8日	116	2,000	232,000
2022年7月8日	110	2,000	220,000
2022年7月8日	116	2,000	232,000
2022年8月8日	110	1,000	110,000
2022年8月8日	116	1,000	116,000
2022年9月9日	110	2,000	220,000
2022年9月9日	116	2,000	232,000
2022年10月12日	110	4,000	440,000
2022年10月12日	116	4,000	464,000
2022年11月7日	110	1,000	110,000
2022年11月7日	110	1,000	110,000
2022年11月7日	110	1,000	110,000
2022年11月7日	116	2,000	232,000
2022年11月7日	116	1,000	116,000
2022年12月9日	110	1,000	110,000
2022年12月9日	116	1,000	116,000

株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月開催
基準日	1. 毎年6月30日 2. 中間配当を実施する場合は12月31日 3. そのほか、必要あるときはあらかじめ公告して定めた日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
公告の方法	電子公告（やむを得ない事由がある場合は日本経済新聞に掲載して行います） URL https://www.takei21.co.jp/



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。